



青き楓

島高だより
平成23年7月号
(通巻第64号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

校長室から

「過去最高の大学・短大現役進学率」



校長 辰田 幸敏

少子化が進み、平成22年3月の高校卒業者は106万人であった。文科省の「学校基本調査」(平成22年度版)によると、このうち、大学・短大に進学した生徒は54.4%で8年連続で増加し、過去最高に達したと報告している。

受験雑誌等によれば、中でも医療・福祉系の学部は大学卒の肩書きと国家資格の両方取得できるため、人気があるようだ。専門学校進学者と就職した生徒はいずれも15.8%であり、特に就職者は約30年前に比べて半減している。

大学進学率がアップする背景には高校卒業者が減少する中で、新しい大学や学部が設置され、受験生が大学や学部を選びさえしなければ年々合格しやすくなっている現状がある。また、少子化で兄弟が少なくなり、少し無理してでも「できれば子どもを大学へ進学させたい」という親心もあるだろう。さらには、景気の混迷による就職難が進学率を高める要因の1つになっていると考えられる。

先行き不透明な景気動向の中で大学生の就職戦線もきわめて厳しい。バブル期ならいざ知らず、今はくれぐれも「大学に行けば何とかなる」という思い違いだけはしない方がよい。

8月の主な行事予定

- 1日(月) 3年夏季補習(～8/10)
1年理数科研修旅行(総科大 ～8/2)
- 7日(日) 3年オープン模試
- 9日(火) 登校日・平和学習
- 12日(金) 地学ガイド養成講座(1年理数科)
- 17日(水) 3年雲仙学習合宿(～8/24)
- 18日(木) 1・2年夏季補習(～8/24)
- 19日(金) 1・2年校内実力考査
1・2年学習環境調査
- 22日(月) 2年理数科研修旅行(崇城大 ～8/24)
- 26日(金) 授業設定日
オープンスクール
- 27日(土) 3年全国マーク模試(～8/28)
ハイレベル模試(2年希望者)
- 29日(月) 授業設定日
- 30日(火) 授業設定日
- 31日(水) 授業設定日

島高オープンスクールに行こう!

平成23年8月26日(金)

13:00～13:20

全体会受付〔体育館1階で中学校別に行う〕

13:20～14:25(65分)

全体会(体育館アリーナ)

- ①教頭挨拶 ②日程説明
- ③学校紹介 ④理数科紹介
- ⑤授業体験の案内

14:40～15:25(45分)

授業体験(南校舎)

〔国語・社会・数学・理科・音楽・美術・英語〕

15:25～ アンケート記入・回収

15:10～15:40(30分)

保護者懇談会【在校生保護者との情報交流会】

15:50～16:50(60分)

部活動体験、自由見学および個別相談

島高青楓塾

- ◆期日 7月1日(金)
- ◆会場 島原文化会館
- ◆講師 本田雅久氏(本校29回生 JAXA所属)
- ◆演題 「何かを設計すること」ということ
- ◆講師プロフィール
 - 1959年1月 島原生まれ
 - 1977年3月 島原高校卒業
 - 1984年3月 東京大学工学部工学系研究科 修士課程修了
 - 1984年4月 日産自動車 宇宙航空事業部入社(ロケット、再突入カプセル設計に従事)
 - 2007年4月 宇宙航空研究開発機構(JAXA)へ転職(超音速飛行機の研究に従事)



無事に地球帰還

日本流体力学学会2010年技術賞受賞

「小惑星探査機はやぶさ回収カプセルの熱・空気力学設計」

◆内容

今回は本校29回生で小惑星探査機『はやぶさ』のカプセル設計に携わられた本田雅久氏を講師にお迎えし、『はやぶさ』の地球帰還までを中心に詳しく説明していただきました。『はやぶさ』計画完遂までには、たくさんの実験が積み重ねられ、各分野の専門家の高度な技術が組み合わされていることがわかりました。ご自身が担当されたカプセル設計においても、耐熱、耐摩擦の実験を2年以上も繰り返し、何度も設計条件の見直しを迫られる中で、最良の答えに到達したとのことでした。つまり、開発の基本となるのは“P(Plan)→D(Do)→C(Check)→A(Action)”のサイクルを続けることであり、これは23年度の島高のキーワード“気づき・考え・行動する”という教えと同じであると諭してくださいました。ご講演に対し、生徒代表からお礼の言葉と花束の贈呈を行い、最後に全員で校歌を斉唱して「青楓塾」を終えました。



【生徒感想】

○2年生の時、修学旅行でJAXAを訪問したが、こんなに詳しい「はやぶさ」の話は聞けなかったの、とても勉強になりました。あんな高熱に耐えて地球へ戻ってくるカプセルを人間の力で作り出せたということに感動しました。人間はやはりすごい生きものです。島高の先輩がそんな仕事をして日本の先頭に立っていらっしやることをとても嬉しく、誇りに思いました。
○自分の興味・関心がもとになって、それに対する気持ちの強さが「誰もやったことのない挑戦」につながるのだと学ぶことができました。「自分が考えもしないことは実現しない」「考えただけでも起こらない」「常に追い続けることで実現に向かう」というのがあって、半年後の進路実現を目標に頑張っている三年生には大きな力を与えてくださったと思います。

主な部活動成績

○剣道部

平成23年度全九州高等学校体育大会
男子団体 第3位 女子団体 第3位 女子個人 第3位 増田 雅

○レスリング部

平成23年度全九州高等学校体育大会
団体 第2位 個人 50kg級 第3位 伊藤 優 55kg級 第3位 伊藤 奨
60kg級 第2位 原田 駿 66kg級 第3位 岩永 和樹
84kg級 第1位 佐藤 聖翔

○ソフトテニス部

平成23年度全九州高等学校体育大会 男子団体 第3位

○陸上部

第10回長崎県高等学校陸上競技選手権大会 女子1500M 第3位 川端 麻友

○合唱部

全日本合唱連盟理事長賞 第66回九州合唱コンクール長崎県予選 銀賞

高大連携授業 大学の講義を体験

長崎大学や熊本大学など6大学13学部の先生方をお迎えし、出張講義をしていただきました。1・2年生は、各自の進路希望や興味に合わせて（設定された全22講座の中から）講座を選択し、学部・学科の特色や研究内容の説明、模擬授業などを含めた90分間の講義を体験しました。高校生には難しい内容もありましたが、映像や実験をまじえた専門的な説明に触れたり、個々の大学の具体的な情報を得たりすることができ、「大学」や「大学での学び」について興味が高まったようです。

花火が水の中でも燃えた！



【講義タイトル・全22講座】

- ・長崎大学教育学部小学校教育コースの説明と理科実験 「手ぶくろを買いに」を経済学で読んでみよう
- ・私たちの暮らしと環境～地球温暖化と福島原発～ ・小型永久磁石(厚膜磁石)の開発と利用
- ・リハビリテーションの意味と理学療法士の役割 ・工業材料概論～金属の性質と応用～
- ・胎児の能力 ・子どもへの作業療法 ・遺伝子とタンパク質 ・環境修復のための植物機能の開発
- ・マテリアルの魅力を知ろう！（アルミニウム合金誕生秘話） ・中古マンションの販売価格を分析する
- ・工学的センスと数量感覚 ・水生生物の会話を探る ・まちづくりと歴史的な建築 ・心理学への招待
- ・食事と健康～管理栄養士の役割～ ・異文化理解と文化人類学 ・食料生産と環境保全
- ・社会福祉を学ぼう ・テキストの裏を読む～イギリス小説の読み方・楽しみ方
- ・大学で「文学」をまなぶ(1.「大学」でまなぶということ、2.「文学」の現代的な意味とは…、3.大学で学ぶ「文学」)

【生徒感想】

- 今回の講座を受講して理科がますます好きになりました。そして、大学で学びたい、将来子供たちに教えたいという気持ちが強くなりました。
- この講座を受けて、自分の進路について漠然としていたものが少しはっきりとしたものになりました。
- 経済学部は卒業後の進路も幅広くあって、いろんな可能性があるんだなと思いました。経済に関することに興味や関心を持って、いろんなことを違う視点から考えられるようになりたいです。
- 看護とは人々の幸福のために人格の自立を助長する職業と知り、よりいっそう看護に対する憧れが深まりました。

校内球技大会

今年は例年より早めに梅雨が明け快晴の天気にも恵まれ、球技大会が行われました。どの競技も熱が入った対戦が繰り広げられていました。各クラス応援にも力が入り、とてもいい雰囲気の中で競技が出来ていました。



【男子】		【女子】	
バレーボール優勝	3年2組	バレーボール優勝	3年6組
バスケットボール優勝	2年1組	バスケットボール優勝	2年6組
バドミントン優勝	3年2組	バドミントン優勝	3年3組
フットサル優勝	3年2組	ドッジボール優勝	1年5組
【学年総合優勝】			
1年4組	1年5組	2年6組	3年2組

第62期 生徒会常任委員の紹介

第62期にあたる、14名の新常任委員に任命状が授与され、旧委員との交代式が行われました。第61期の常任委員は、110周年という節目の年に島高生の中心となり、様々な場面で活躍してくれました。3年生一人ひとりが退任挨拶を行い、新常任委員長へ校旗が引き継がれ、島高第62期生徒会が発足しました。



任命状授与



校旗の引継



常任委員長挨拶

委員長	林田 剛	2年	委員	荒木 成美	2年
委員	笹田 瑛梨佳	2年	委員	森川 純平	2年
委員	野々村 龍	2年	委員	本多 美月	2年
委員	小松 由季	2年	委員	松島 未来	1年
委員	長橋 紘子	2年	委員	吉田 真彩	1年
委員	本田 瑞貴	2年	委員	酒井 結	1年
委員	杉野 友紀	2年	委員	谷口 隼斗	1年

※あと数名が後日追加任命される予定です。

★ 新常任委員長挨拶 「つながりを深める」 ★

第62期生徒会常任委員長 林田 剛

私は今年度、「生徒一人一人のつながりを深めていくこと」を大きな目標として掲げ、生徒会活動に取り組んでいこうと思います。高校生活という決して長くはない限られた時間を、皆さんがより有意義に過ごせるように精一杯努力をしていきますので、よろしくお願いします。



全国高等学校総合体育大会出場者 (北東北総体)

目指せ！ 全国の頂点

○剣道部男子 (青森 8/10～8/12)

那須 剛志郎 徳永 剛志 永谷 優樹
 藤本 一騎 井村 秀太 林田 匡平
 藤野 麗太 上村 貴弥

○剣道部女子 (青森 8/10～8/12)

増田 雅 小嶺 華 小揚 由紀子
 山崎 瑠美 阪本 皇子 本田 七菜子
 渡邊 笙子 土居 裕佳

○ソフトテニス部男子

(青森 7/29～7/31)

長嶋 広晃 幸田 真吾

○レスリング部 (岩手 8/1～8/4)

伊藤 優 永尾 貴幸 原田 駿
 岩永 和樹 松本 郁朗 佐藤 聖翔
 前田 智之 松坂 誠應 内田 匠

○弓道部女子 (岩手 8/4～8/7)

伊藤 奨 本多 正龍
 佐用 菜穂 永野 文彩 大津 愛美
 荒木 麻耶 高木 明日香 高木 理紗子
 松田 紗季

高城同窓会会長様並びに関東島高同窓会から激励金をいただきました。ありがとうございました。